

こっこめ通信 11 2016

「いろいろあっておもしろい」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年は移動性高気圧が北寄りを通っているため、八丈島は北東の強風が吹く日が多くなっています。その影響もあり、渡りの鳥たちがやって来るのも遅いように感じます。それでも中旬以降カモたちの姿も見られるようになり、コミミズクやマガン、カンムリカイツブリなどあまり島にやってこない渡りの鳥も確認されています。これから今シーズンはどんな鳥たちが島にやって来るのかワクワクしています。来月はどんな鳥を紹介できるでしょうか？

さて今回は、「ハクセキレイを見分ける！」「小さいですが大きな声で鳴いています」「テリハノブドウの実は何色？」のお話です。

ハクセキレイを見分ける！

島では春や秋に渡りの途中に立ち寄るハクセキレイ。毎年必ず渡ってきて、秋から冬にかけては長期滞在もしています。園地の芝生や道路脇の草地、海岸など目立つ場所でよく見られ、尾羽を上下に振りながら歩く仕草がとてもかわいい鳥です。ハクセキレイだと思ってみているとなんだか雰囲気の違いが混ざっていることがあります。そこで、島で撮影した画像でハクセキレイと似た種類を見比べてみました。

ハクセキレイの夏羽は黒い部分が多く、冬羽になると灰色の部分が増えてきます。八丈島では春でも夏羽の姿はあまり見かけません。また、秋には、成鳥に混じって全身灰色で顔が少し黄色みを帯びている幼鳥が多く渡ってきます。

眼を通る過眼線が無く顔が真っ白なホオジロハクセキレイは少数が渡ってきてハクセキレイと共に行動しています。喉の黒斑がくちばしまで伸び背中が灰色のタイワンハクセキレイは島では極めて稀です。眼の下から背中まで黒いセグロセキレイは川などの水辺を好んでいます。ツメナガセキレイはハクセキレイの幼鳥に似ていますが後趾がとても長く、頬が白くないので見分けられます。キセキレイは黄色いので分かりますね。

この時期身近なハクセキレイの見分けに挑戦してみましょう！



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

小さいですが大きな声で鳴いています

公園内の芝生を歩いていると、足下から虫の大きな鳴き声が聞こえてきます。鳴いている虫を探そうと近づくと鳴きやみ、芝生の上をポンポンと叩きながら探しても出てくるのはとても小さなコオロギの仲間。実は大きな声で鳴いていたのは大きさが1cmにも満たない小さなコオロギなのです。このコオロギたちは夏に成虫になって鳴き、さらに卵から孵った二世代目が秋にまた鳴き始めます。ちなみに鳴き声と言っていますが、実際には翅にあるヤスリ器と摩擦器をこすりあわせて音を出しています。オスがメスへのアピールのために出している音なのでオスを採集し、撮影して拡大したものが下の画像です。肉眼で見ると似たように見えますが、ずいぶんと特徴があるのが分かります。虫メガネを持って小さなコオロギ探しをしてみたいはいかがでしょうか？



シバスズ (ヒバリモドキ科シバスズ属)

Polionemobius mikado

ジーーと単調に長く鳴く。

マダラスズと同じような環境にいますが、数は少なめ？体色は褐色で、体の横の黒いラインが目立ちます。後腿節には薄く小さな斑模様が入っています。



マダラスズ (ヒバリモドキ科マダラスズ属)

Dianemobius nigrofasciatus

ジー・ジー・ジーと単調に鳴く。

植物公園内ではいちばん数が多く、見つけやすいです。後腿節に大きな斑紋があるのが特徴で肉眼で見ても分かります。小顎鬚は白く、先端部は黒くなっています。



ヤチスズ (ヒバリモドキ科ヤチスズ属)

Pteronemobius ohmachi

ジーー・ジーーと尻上がりに鳴く。

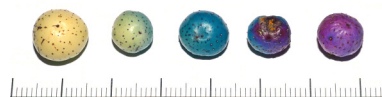
植物公園内では見られず、ホテル水路などの湿った草地で見られます。他の2種よりも体が黒っぽく、鉛色の脚が目立ちます。後腿節背面外側の棘は3本

テリハノブドウの実は何色？

八丈島にあるノブドウはすべて葉に毛のないテリハノブドウ。その実は秋になるといろいろな色に変わります。その実に関して「ノブドウの実は虫コブ（ノブドウミフクレフシ）になると色が変わる！」「色の付いた実は虫コブになっている！」という話があります。この話は真実なのか？ノブドウの実は何色になるのが本当なのか？少し調べてみました。

【日本原色虫えい図鑑】には、ノブドウミフクレフシは「ノブドウミタマバエによって実形成される球形の虫えいで直径8.4～16.9mm。表面は滑らかで、**黄白色**ないしは**紅赤色**」と書かれて、【平凡社・日本の野生植物 草本 II 離弁花類】のノブドウの解説には「液果は球形で、径6～8mm、**帯白色**で気孔があり、**淡紫色**を経て、熟して**空色**になる」、【神奈川県植物誌2001】には「果実は**緑色**から**赤紫色**を経て**黒く**熟す」と書かれていました。ということは、**黄白色・紅赤色**の実**は**虫コブで、**帯白色・淡紫色・空色・緑色・赤紫色・黒色**の実**は**虫コブではないということになります。そこで底土海水浴場周辺でいろいろな色のテリハノブドウの実914個（写真右上・中）を採取し、実を割って何色が虫コブなのか確かめてみました。結果は予想通りで、15mmを超える（写真右中）**淡紫色**3個と**紅赤色**1個は虫コブになっていて（虫は脱出済み）、いろいろな色の小さな実は虫コブにならず種子ができあがっていました。

よって「小さな実は虫コブになっていることはなく、大きな実が虫コブである」「テリハノブドウの実**は**虫コブに関係なく、**黄白色・緑色・空色・淡紫色・赤紫色・紅赤色**など様々な色になってとてもきれいだ！そして虫コブになっている実は、以前撮影した大きな実の写真（写真右下）から、**黄白色・紅赤色・淡紫色**に色付くことが多い。」ということが分かりました。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 10 月 9 日 (13 時 30 分～15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 28 年第 10 回) 参加者無し (調査者: VC 菊池)

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			33	チチコグサ	花と実	12	ハゼノキ	実と花
1	アオスゲ	花	34	チヂミザサ	花	13	ヒサカキ	実
2	アオツツラフジ	花	35	ツユクサ	花	14	ヒメユズリハ	実
3	アオノクマタケラン	実	36	ツルソバ	花	15	ホルトノキ	実
4	アキノノゲシ	蕾	37	テリハノブドウ	実	16	マサキ	実
5	アシタバ	実	38	テンツキ	実	シダ植物		
6	アメリカスズメノヒエ	花	39	ナキリスゲ	実	1	ウチワゴケ	
7	アメリカセンダングサ	花と実	40	ハイメドハギ	花	2	オオイタチシダ	
8	イガガヤツリ	実	41	ハシカグサ	花と実	3	オオタニワタリ	
9	イヌタデ	花	42	ヒナギキョウ	花と実	4	オニヤブソテツ	
10	ウスベニニガナ	花と実	43	ヒメクグ	実	5	カニクサ	
11	ウリクサ	花	44	ヒメヨツバムグラ	花と実	6	コハシゴシダ	
12	エダウチチヂミザサ	花	45	ヒンジガヤツリ	実	7	タチクラマゴケ	
13	オオアレチノギク	花と実	46	ヘクソカズラ	実	8	タチシノブ	
14	オオバコ	実	47	ホソバツルメヒシバ	実	9	タマシダ	
15	オニタビラコ	花と実	48	メヒシバ	実	10	ナチシケシダ	
16	オヒシバ	実	49	メリケンカルカヤ	花	11	ノキシノブ	
17	カタバミ	花と実	50	ヤハズソウ	花	12	ハカタシダ	
18	カヤツリグサ	実	51	ヤブマオ	実	13	ハチジョウカナワラビ	
19	カラムシ	実	52	ヤマイ	実	14	ハチジョウシダ	
20	カリマタガヤ	花	木本			15	ヒトツバ	
21	キンゴジカ	花と実	1	アオキ	実と虫こぶ	16	ホシダ	
22	クルマバザクロソウ	花と実	2	オオバヤシャブシ	実	17	マツバラソ	
23	ケナシヒメムカシヨモギ	花	3	オオムラサキシキブ	実	18	マメツタ	
24	コゴメガヤツリ	実	4	ガクアジサイ	実	今回はシダ植物 18 種を含む 86 種の植物を観察しました。開始前からの雨で参加者がなかったので解説員が一人で調査しました。帰化植物のタマザキフタバムグラを初めて記録しました。また、カリマタガヤも植物公園では初めての記録です。		
25	コセンダングサ	花と実	5	カラスザンショウ	実			
26	コニシキソウ	花と実	6	シチトウエビヅル	熟した実			
27	コマツヨイグサ	実	7	シチトウタラノキ	花			
28	コミカンソウ	花と実	8	シマクサギ	実			
29	ザクロソウ	花と実	9	スダジイ	実の虫こぶ			
30	スイカズラ	実	10	テイカカズラ	実			
31	タチスズメノヒエ	実	11	トベラ	実			
32	タマザキフタバムグラ	花と実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、渡ってきた「キセキレイ」にスポットを当ててみたいと思います。



キセキレイ *Motacilla cinerea cinerea*

セキレイ科の鳥、留鳥あるいは漂鳥として北海道から九州に生息。南西諸島では冬鳥として渡ってきます。

八丈島では渡りの途中に立ち寄る旅鳥と思われますが、冬にそのまま留まり越冬する個体もいるようです。2003 年の春には巣材を運ぶ姿が確認されているので、島内で繁殖した可能性もあります。

2016 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 ガイドウォーク	4	5 ガイドウォーク
		06:47 00:12 18:06 12:24	07:20 00:41 18:31 12:53	07:55 01:12 18:56 13:23	08:33 01:44 19:24 13:55	09:17 02:20 19:54 14:34
6 ガイドウォーク 東京文化財ウィーク企画 「シダ植物観察会」 (北限のヘゴを訪ねて)	立冬 7	8	9	10	11	12 ガイドウォーク
10:11 03:01 20:34 15:28	11:22 03:53 21:39 16:56	12:42 05:04 23:37 18:52	13:47 06:29 20:09	01:31 07:48 14:36 20:58	02:50 08:52 15:17 21:40	03:51 09:46 15:54 22:21
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14	15	16	17	18	19 ガイドウォーク
04:44 10:34 16:31 23:02	05:34 11:19 17:07 23:43	06:23 12:03 17:44	07:12 00:26 18:21 12:46	08:01 01:09 18:59 13:30	08:51 01:54 19:39 14:16	09:44 02:40 20:22 15:10
20 ガイドウォーク	21	小雪 22	23 ガイドウォーク	24	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「三根川向散歩」
10:42 03:30 21:18 16:22	11:47 04:25 22:43 18:00	12:54 05:31 19:35	00:39 06:47 13:50 20:37	02:17 07:59 14:35 21:19	03:24 08:58 15:12 21:54	04:14 09:46 15:44 22:25
27 ガイドウォーク	28	29	30			
04:55 10:26 16:14 22:55	05:31 11:02 16:42 23:24	06:06 11:34 17:10 23:54	06:39 12:06 17:38	この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		

イベントプログラム

東京文化財ウィーク企画事業
「シダ植物観察会」

鴨川林道を歩きながらシダの観察をします。北限のヘゴも見に行きます。
11/6 (9:30～ 約6時間) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費:500円(保険代) 定員:20名

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を感じましょう！
11/13 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名

八丈学講座
「三根川向散歩」

毎月行っている八丈学講座。いずみ親水公園近くの矢崎から川向にかけて歩きます。
11/26 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
いずみ親水公園集合・解散:50円 定員:15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2016.11.1 第186号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

編集後記

テリハノイバラの実を割って分かったことがもう1つ。中の種子1つは48.4%、種子2つは28.8%、種子3つは7.0%、種子4つ以上は1%、種子は入っているがオレンジ色の粉にまみれているが14.1%、虫コブになっているが0.8%でした。疲れました。(高)